

気軽に相談してください

発達障害のある人は、その特性によって人の気持ちやその場の雰囲気を理解して行動することが難しい等、社会生活上で困難をきたす場合があります。

しかし、その特性は生まれつきであり、保護者の育て方や本人の努力不足が原因で起きているわけではありません。

その特性や社会の理解不足による生きにくさを抱えながら暮らしていくことは大変なことです。一人で悩まず、まずは相談してみてください。

現在抱えている不安を軽減しながら特性とうまくつきあい、工夫することで、より良い暮らしができるよう一緒に考えていきましょう。

必要に応じて、適切な機関を紹介することもできます。

発達サポートファイル

幼児期から大人になるまでの発達・成長の記録をまとめることができます。様々な相談場面でご活用ください。



障害福祉課の窓口で配布しているほか、豊島区のホームページからダウンロードすることもできます。

相談窓口

《あらゆる年齢層からの発達障害に関する相談》

- 障害福祉課 発達障害者相談グループ
豊島区南池袋2-45-1 03(4566)2445

《こころの相談》

- 池袋保健所 健康推進課
豊島区東池袋4-42-16 03(3987)4174
- 長崎健康相談所
豊島区长崎3-6-24 03(3957)1191

《就労に関する相談》

- 障害福祉課 就労支援グループ
豊島区南池袋2-45-1 03(3985)8330

《発達相談・子どもの問題全般に関する相談》

- 西部子ども家庭支援センター
豊島区千早4-6-14 03(5966)3131
- 東部子ども家庭支援センター
豊島区上池袋2-35-22 03(5980)5275
- 豊島区児童相談所
豊島区长崎3-6-24 03(6758)7910

《学校・教育に関する相談》

- 教育センター
豊島区雑司が谷3-1-7
・就学相談 03(3590)6746
・教育相談 03(3971)7440

《発達障害に関する全般的な相談、 地域支援・普及啓発事業》

- 東京都発達障害者支援センター
・こどもTOSCA
世田谷区船橋1-30-9 03(6413)0231
・おとなTOSCA
文京区大塚4-45-16 03(6902)2082

発行：豊島区保健福祉部障害福祉課
電話：03-4566-2445 / FAX：03-3981-4303
発行日：令和5年11月（改訂）

地域で支える 発達障害

発達障害のある人は、周囲の理解と適切なサポートが必要です。本人や家族の抱えている困難さを理解し、支援していくことが大切です。



SDGs 未来都市としま



豊島区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

発達障害とは？

脳の機能障害であり、物事の見方、感じ方、理解の仕方、人との関わり方、行動の仕方などにかたよりのある障害です。

代表的なものとして、

- 広汎性発達障害（※）
 - ・自閉症
 - ・アスペルガー症候群
- LD(学習障害)
- AD/HD
(注意欠陥多動性障害)



などがあります。

(※)ASD「自閉スペクトラム症」という新しい診断名が取り入れられてきています。

発達障害の特性

主な特性として以下のような例があります。年齢や環境により表れ方は違いますが、これらの特性から、色々な経験を積み重ねにくくなる場合があります。

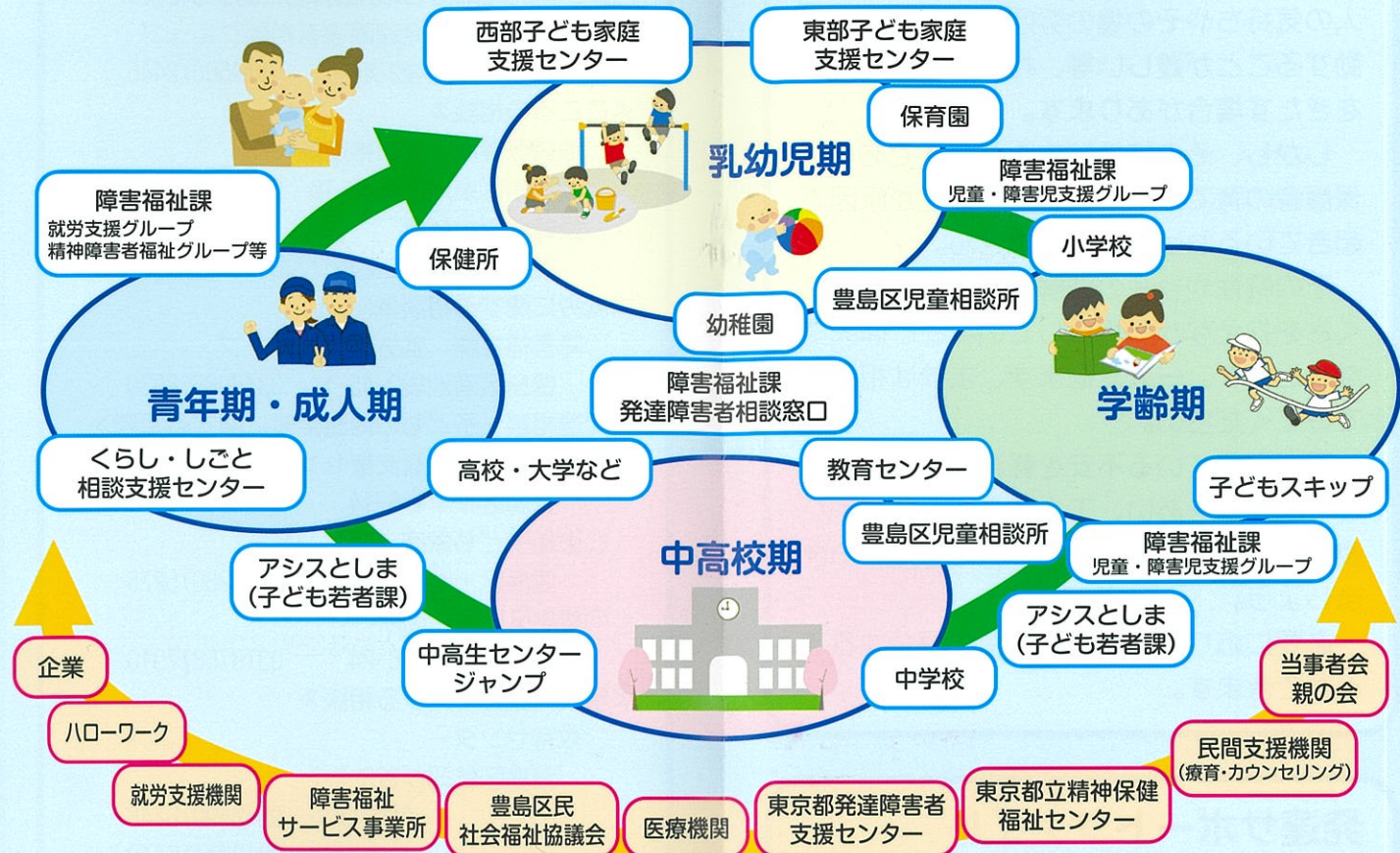
(例)

- 人間関係がうまくいかない
- 仕事や勉強に集中できない
- 物事の段取りが苦手
- 場の空気がよめない
- 自分のやり方にこだわる
- 同時に複数のことができない
- 急な予定の変更が苦手
- 落ち着きがなく、じっとしてられない



～それぞれのライフステージでサポートします～

豊島区では、一人ひとりに合ったサポートをするため、関係機関のネットワークを強化しています。年齢や状況に応じて、必要な機関をぜひ利用してみてください。



周囲の人のあたたかい支援を

発達障害のある人は見た目にもわかりにくく、特徴の表れ方も多様なため本人も生きにくさを感じている場合があります。

一人ひとりが発達障害を理解し、本人の個性や特性に応じた適切な配慮や支援を行うことによって、その人らしい生活ができるようになります。

【具体的な対応例】

- 話し言葉だけに頼らず、絵・写真・文字等の視覚に訴える方法を心がける。
- あいまいな表現を避け、具体的な言葉で伝えてみる。(例：ちょっと待ってて⇒〇分間待ってて)
- できないところは無理をせず、得意な部分で役割を果たしてもらう。

